

# Cisco CallManager : Call Back 機能に関する FAQ

## 目次

### 概要

[Cisco Unified CallManager はいつ IP Phone B が再度利用できることを決定しますか。](#)

[IP 電話 A が再起動またはリセットされたときには何が起きますか。](#)

[IP Phone A が失敗した場合何が起きますか。](#)

[IP 電話 B が再起動またはリセットされたときには何が起きますか。](#)

[IP 電話 B のフェールオーバーの際には何が起きますか。](#)

[共有回線 \( Shared Line \) で Call Back 機能をアクティブにすることはできますか。](#)

[コールは電話 1 あたりまたは行基礎ごとの a で特色になりますありますか。](#)

[複数の相手先着信番号に対して Call Back 機能をアクティブにすることはできますか。](#)

[プライマリ Call Back サービスが「拡張サービス」を停止/起動、または停止している状態であり、バックアップ サービスが起動した場合、何が起きますか。](#)

[スピーカーフォン オプションが無効であるとともにコールを特色になります使用しますか。プライマリ CEF サービスが登録されている「CTI Manager Service」が停止するとどうなりますか。](#)

[どのようにコールバック通知を受信できますか。](#)

[Cisco コールのためのシステム要件とは何特色になりますか。](#)

[コールが音声メールに行くときコール 機能は利用できますもどって来ますか。](#)

[どのようにコールを特色になります設定しますか。](#)

[PSTN に特色になりますコールを設定できますか。](#)

[コールは 6.0 から 6.1 へ CUCM をアップグレードした後はたらくために失敗する特色になります。どのように解決しますか。](#)

[どのようにコールをアクティブにする不可能を on Cisco 特色にします IP 電話を解決しますか。](#)

### 関連情報

## 概要

Cisco CallManager 3.3 以降には、Cisco Call Back という新しい機能があります。Cisco Call Back 機能を使用すると、着信側の回線が使用可能になったときに、Cisco IP Phone でコールバック通知を受信できるようになります。IP フォン ユーザ A が同じクラスタの IP フォン ユーザ B に電話します。IP フォン B が使用中の場合、または応答がない場合、IP フォン ユーザ A は、[CallBack ( 折返し )] ソフトキーを使用して Cisco Call Back 機能をアクティブにします。IP フォン B が使用可能になると、IP フォン A は、DN が使用できることを示す音によるアラートと視覚的な通知を受け取ります。Cisco CallManager はダイヤルした番号を記憶しているので、IP フォン ユーザ A は、[Dial ( ダイヤル )] ソフトキーを押して、IP フォン ユーザ B に到達することができます。このドキュメントでは、Cisco Call Back 機能に関するよくある質問 ( FAQ ) に回答しています。 [この機能のアーキテクチャの詳細は、『Cisco Call Back』を参照してください。](#)

この FAQ では、IP 電話 A から IP 電話 B に電話をかける場合を想定しています。その後、IP 電

話 A は IP 電話 B に対して Cisco Call Back 機能をアクティブにします。

**Q. Cisco Unified CallManager はいつ IP Phone B が再度利用できることを決定しますか。**

A. Cisco Unified CallManager は IP Phone がこれら二つの方法の 1 つで再度利用できることを決定します:

- IP 電話 B がオンフック状態になった ( ビジー状態だった場合 ) 。
- IP 電話 B がオンフック/オフフック状態になった ( 応答がなかった場合 ) 。

**Q. IP 電話 A が再起動またはリセットされたときには何が起きますか。**

A. IP 電話が再起動された場合、Call Back 機能はアクティブ化されたままです。IP Phone がリセットされる場合、コールはまだアクティブになります特色になります。

**Q. IP Phone A が失敗した場合何が起きますか。**

A. Call Back 機能はアクティブ化されたままです。ただし、Call Back Handler の同期が行われるまでに、しばらく時間がかかる ( 20 秒 ) 場合があります。この状態は、たとえば Cisco CallManager サービスがダウンしたことなどが原因で、IP 電話のフェールオーバーが発生した場合が考えられます。、たとえば、コンピュータ テレフォニー インテグレーション ( CTI ) が Cisco Extended Functions ( CEF ) サービスがまたダウン状態になれば、コールは失われます特色になります。

**Q. IP 電話 B が再起動またはリセットされたときには何が起きますか。**

A. IP Phone が再起動する場合、コールはまだアクティブになります特色になります。IP Phone がリセットされる場合、コールはまだアクティブになります特色になります。

**Q. IP 電話 B のフェールオーバーの際には何が起きますか。**

A. Call Back 機能はアクティブ化されたままです。ただし、Call Back Handler の同期が行われるまでに、しばらく時間がかかる ( 20 秒 ) 場合があります。この状態は、たとえば Cisco CallManager サービスがダウンしたことなどが原因で、IP 電話のフェールオーバーが発生した場合が考えられます。、たとえば、コンピュータ テレフォニー インテグレーション ( CTI ) が Cisco Extended Functions ( CEF ) サービスが同様にダウン状態になれば、コールは失われます特色になります。

**Q. 共有回線 ( Shared Line ) で Call Back 機能をアクティブにすることはできますか。**

A. はい。

**Q. コールは電話 1 あたりまたは行基礎ごとの a で特色になりますありますか。**

A. Call Back 機能は電話単位が基準になります。

**Q. 複数の相手先着信番号に対して Call Back 機能をアクティブにすることはできま**

すか。

A. いいえ。既に 1 アクティブ コール背部およびあなたに別の拡張のためにそれをアクティブにしたいと思ってもらっているときメッセージ「コールバックです <number 1> でアクティブ受け取ります; <number 2>" でアクティブになるために『OK』 を押して下さい。良く見つかるとき、コールは第 1 のために失われます。

**Q. プライマリ Call Back サービスが「拡張サービス」を停止/起動、または停止している状態であり、バックアップ サービスが起動した場合、何が起きますか。**

A. IP 電話の Call Back 機能は失われます。この理由は Cisco によって拡張される機能サービス (CEF) をバックアップするために Cisco が正常なアクティベーションをブロードキャストしないことです。

**Q. スピーカーフォン オプションが無効であるとコールを特色になります使用する  
方法**

A. コールはスピーカーフォンが無効である場合機能しません特色になります。 Dial ボタンが押されるととき何も起こりません。 workround が特色になるためにスピーカーフォンを有効にするか、またはコールを利用するようにヘッドセット ボタンを押すことができるように。

**Q. プライマリ CEF サービスが登録されている「CTI Manager Service」が停止するとどうなりますか。**

A. Cisco Extended Function (CEF) サービスは次の利用可能な コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) マネージャに失敗しますが、すべてのコール アクティベーションは失われます。

**Q. どのようにコールバック通知を受信できますか。**

A. ユーザはコールバック通知を受信するために使用中かリングバックトーンが受け取られるときコールバック ソフトキーを押します。電話と同じ Cisco CallManager クラスタ内の Cisco IP Phone の行のコールバック通知をアクティブにすることができます。

**Q. Cisco コールのためのシステム要件とは何特色になりますか。**

A. Cisco コールは Cisco CallManager リリース 3.3 またはそれ以降をおよび Cisco IP Phone を必要としますソフトキー (Cisco IP Phone 7970 を、7960 または 7940) サポートする。

**Q. コールが音声メールに行くときコール 機能は利用できますもどって来ますか。**

A. いいえ。コールが音声メールにそしてコール転送されたらはたつきません特色にして下さい。コールはビジーシグナルを聞くときはたらくように設計されています特色になります。

**Q. コールを特色になります設定する方法**

A. [Cisco CallManagerの機能およびサービスガイドの Cisco コール](#) セクションを[使用する方法を 3.3 Cisco CallManagerの機能およびサービスガイド 4.1](#) および [Cisco CallManagerの機能およびサービスガイド 5](#).参照して下さい。

## Q. PSTN に特色になりますコールを設定できますか。

A. [トランクの設定設定](#)で与えられるようにトランクの設定設定の QSIG にトンネル伝送されたプロトコルを設定した場合 Public Switched Telephone Network ( PSTN ) に特色になる configure コールことができます。

## Q. コールは 6.0 から 6.1 へ CUCM をアップグレードした後はたらくために失敗する特色になります。どのように解決しますか。

A. この問題を解決するために、CCMPWDChanger ユーティリティの CCMSysUser パスワードを変えて下さい。

1. CCMSysUser パスワードを変えるために、[Cisco IP サービスを有効にすることを参照](#)して下さい。
2. CTIManager を、Tomcat、IIS Admin 再起動して下さい。
3. ディレクトリ統合が完了したことを確認して下さい。

これはコールを特色になります後 6.0 から 6.1 まで CUCM アップグレード固定しました。

## Q. コールをアクティブにする不可能を on Cisco 特色にします IP 電話を解決する方法

A. この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. すべてのサーバの Cisco Extended Functions ( CEF ) サービスを再開して下さい。  
CCMAdministrator ページで、> Tools > Control Center Application > Cisco CallManager Serviceability の順に選択して下さい。CEF ライブであるかどうか確認して下さい。そうでない場合、このサービスを選択し、開始して下さい。ライブであることを示したら、サービスを選択し、再起動して下さい。詳細については、[Cisco によって拡張される機能サービス依存関係を参照](#)して下さい。
2. これらのサービスを再開して下さい: CTI Cisco Tomcat ServiceIIS Admin
3. 問題が持続する場合、[Cisco IP サービスを有効にすること](#)に示すように CCMPWDChanger ユーティリティの CCMSysUser パスワードを変えて下さい。

## 関連情報

- [Cisco コール](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)